



2021年4月23日

トヨタモビリティ東京株式会社

「AED（自動体外式除細動器）」を全店舗に配備

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 片山 守）は、都内に展開するトヨタ店舗、レクサス店舗、中古車店舗、ボデー・ペイント・センターなど全226拠点に、AED（自動体外式除細動器）の配備を完了した。

心肺停止で倒れた際には、一刻も早い蘇生措置により生存率が高まることが知られているが、お客様や近隣住民がAEDが必要になった際に、全ての店舗でAEDを活用いただけることになる。

これまでに設置済みの店舗では、毎年AEDを活用した救急救命講習会を実施しており、昨年7月には新宿明治通り北店にて、心肺停止で倒れた社員に対しAEDを用いて迅速適切な救命処置を行い、東京消防庁新宿消防署より感謝状を授与された実績もある。

AEDは、誰にもすぐ使用いただけるよう、ショールームの視認性の良い場所に設置、取り扱いマニュアルの全社展開や、救急救命講習会も継続して実施しており、全社員がAEDの操作に対応できる体制を整えている。

当社はこれらの活動を通じ、お客様と社員の安全・安心を守る取り組み、地域の皆様のお役に立てる取り組みを進めてまいります。



<店舗の視認性の高い場所に設置されたAED>



<救急救命講習会の様子>

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：総務部 総務企画室 広報グループ 中川・八木
TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-7633